事業報告シート

事業分野	もの・まち・くらし・その他	作成日	平成25年11月16日
事業名称	造形作家との対話　ー自然素材（石）と工業製品を題材にしてー		
開催日時	平成25年11月15日（金） 19:00～21:00	開催場所	神戸支部事務所
ふりがな	（こうえきしゃだんほうじん）ひょうごけんけんちくしかい　こうべしぶ　せいねんぶかい		
活動団体名	**（公益社団法人）兵庫県建築士会　神戸支部　青年部会**		
事業の目的	閉鎖的になりがちな建築業界において、現代美術という異なる分野で活動されている造形作家の藤岡智紀氏をお招きし、自然素材である石や工業製品の鉄を使った作品について、建築の中に取り入れられたものを中心にお話を伺う。その後に参加者の方からの質問や感想を発表し、藤岡氏とディスカッションを行うことによって、建築と美術との新しい関係や自然素材と工業製品のあり方について知見を得ることを目的とする。		
主な事業内容	テーマ;『自然素材（石）と工業製品を題材にしてー』 講　師;藤岡智紀 氏 ・実際に使用されている道具を見せていただきながら、石の加工方法について学ぶ。 ・実物を縮小した石の作品に触れ、その後写真や映像によってコンセプトを学ぶ。 ・最新作である鉄の廃材を利用した作品と東日本大震災の被災地での活動、建築家と造形作家の協働について伺う。		

参加者	内訳	青年会員	一般会員	会員外	その他	合計
	人数	7	2	4	4	17

建築士の関り	石の加工方法や使用例について、造形作家という建築と異なる立場の講師から話を伺うことで、新しい知見を得ることができた。実際に加工する道具や作品に直に触れることで、体感的に石という素材を身近に感じられるようになった。 石を使った建築の歴史をおさらいすることによって、古代から現代までの石の使われ方を見直すことができた。
今後の検討課題	最終ロコミによる集客によってある程度参加者を確保できたが、一般参加者の割合がまだ少ないので、告知方法を検討する必要がある。 今回は実現できなかったが、同じテーマで実際に採掘場で石を割るところを見せていただく見学会を開催したい。
連携・協力組織等	造形作家　藤岡智紀氏

当日の様子

・実際に使われている道具や作品を直に触れながら、石という自然素材の特性、鉄などの工業製品との相性について説明していただきました。

作品のコンセプトだけではなく、建築家と造形作家の関係性、復興支援の事例についてもご紹介をいただきました。

学生も4名参加し、質疑回答でも活発なやり取りがありました。

事業担当(計画)者	中村重陽(青年部会・委員)	事業責任者	佐伯亮太（青年部会・部会長）
事業担当者連絡先	090-2853-5866	神戸支部所在地	神戸市中央区古湊通1-2-12　古湊ビル2階
事業担当者E-mail	shig@n-axa.com	青年部URL	http://www.kobe-kenchikushikai.com/seinen